

**令和２年度 東濃圏域障がい者総合支援推進会議
就労・雇用支援部会（障がい者就労支援圏域ネットワーク事業）
報告書**

圏域名	東濃圏域	委託先法人名	社会福祉法人 陶技学園
-----	------	--------	-------------

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労支援推進のため、関係機関等の情報・課題の共有を行う	東濃圏域障がい者総合支援推進会議 就労・雇用支援部会構成団体・機関	＜東濃圏域障がい者就業支援ネットワーク全体会議＞ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の予定を変更し書面開催とした。 ◆資料送付 ・令和元年度報告及び令和2年度計画 ・障がい者就労の現状と課題（ハローワーク・特別支援学校）	6/11（木） 発送	—	—	書面開催とし、就労支援ネットワーク構成団体98ヶ所宛てに資料送付をすることで、会議中止の中でも東濃地域の現状について情報の発信と共有ができた。
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労継続支援B型事業所における工賃の向上、事業の充実を促進する。	就労継続支援B型事業所	＜就労継続支援B型事業推進協議会＞ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の予定を変更しオンライン開催とした。 ◆情報提供 東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト t ◆グループワーク ①工賃向上のためにどのような工夫をしているか ②困っていること、相談したいこと	1/26（火） 13:30～ 15:00	各事業所 （オンライン）	関係機関 14名 （14事業所） 事務局 4名 計18名	書面ではなくオンライン開催としたことで参加者同士で顔合わせができたことや、オンラインのため移動時間がかからないことなど、出席者からはメリットがあったとの感想が寄せられた。 各事業所には事前にZoom対応の可否について確認したが、設備が整っておらず欠席となった事業所もあった。今回は、欠席者向けに当日の様様を限定配信することで情報発信をした。
就労・雇用支援部会 東濃圏域 セミナー事業	障がい者雇用の促進や職場定着を図るため、取り組みや雇用事例等の情報を企業へ発信する。	地元企業・ 関係機関	＜企業アンケート・事業啓発＞ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、就労セミナーは中止し、代替事業を実施した。 ◆企業アンケート ハローワーク協力の下、東濃圏域の企業へ障害者雇用に関するアンケート調査を行なった。 ◆事業啓発 就労支援ネットワーク事業の取り組みを紹介した広報誌を制作し、アンケートに同封した。	10/29（水） 発送	—	—	企業アンケートでは障がい者雇用に関する調査を行い、144社から返答をいただいた。障がい者雇用状況の他、研修事業のニーズについても意見を集めることができた。 事業啓発として制作した広報誌を同封し、企業へ当事業の活動内容を啓発することができた。
就労・雇用支援部会 地区別開催事業	一般就労に向けた現状への理解を深めると共に、障がい者の意識の向上と働くための心構えに関して学ぶ	東濃特別支援 学校生徒・ 地元企業・ 関係機関	＜多治見・土岐・瑞浪地区事業＞ 東濃特別支援学校にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できず中止。	—	東濃特別 支援学校	—	コロナ禍での開催方法について、来年度以降の検討事項となった。
	一般就労に向けた取り組み、指導方法についての助言を受け、支援に活かす	恵那特別支援 学校生徒・ 地元企業・ 関係機関	＜恵那・中津川地区事業＞ 東濃特別支援学校にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できず中止。	—	恵那特別 支援学校	—	コロナ禍での開催方法について、来年度以降の検討事項となった。
就労・雇用支援部会 啓発事業	就労・雇用支援を効果的に推進するため、情報整理・集計化を図り、各関係機関や企業、地域住民へ情報提供を行う	地元企業・ 地域住民・ 関係機関	＜ガイドブック修正＞ 東濃障がい者就業支援ネットワークのガイドブックの内容の修正・更新を行う。	10月	東濃障がい者 就業・生活 支援センター にて更新	—	ガイドブックは就労支援ネットワーク構成団体に配布し活用された。 ホームページでは、支援機関や制度の案内、ガイドブックのPDFデータなど障がい者就労に関する各種情報を掲載し、地域の方にも閲覧できるようにしている。
			＜ホームページ更新＞ 東濃障がい者就業支援ネットワークのホームページ更新を行うと共に情報の収集・発信を行う。	随時			